

留 学 報 告 書
-----------

記入日:2020年1月3日

所属(学科)	農学部 農学科
留学先(国名)	タイ王国
留学先(大学名)	チュロンコン大学
留学期間	2019年8月～2019年12月
留学した時の学年	2年生
留学先での所属学部	Science
帰国年月日	2020年1月2日
明治大学卒業予定年	2022年3月

留学費用項目	現地通貨(Bht.)	日本円	備考
授業料(負担型の場合)	0	円	
宿舍費	57,000	210,000円	
食費	30,000	10,900円	1ヵ月約 <u>22,000円</u>
図書費・学用品費	0	0円	
被服費	3,000	11,000円	
医療費	0	円	
保険費		円	
渡航旅費		40,000円	
雑費		円	
その他		円	
合計	102,000	370,000円	

渡航情報	
渡航費用	往路: 円 復路: 円 合計: 40000 円
渡航に際して利用した旅行会社や、ガイドブックを教えてください。	
Airasia, Scoot などの LCC 航空をオンラインにて手配	
滞在携帯関連	
(1) 種類 (留学中の滞在先について) (例: アパート, 大学の宿舎など)	
長期滞在ホテル	
(2) 部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数 人)	
(3) 住居を探した方法	
タイに駐在している小沼先生の紹介	
(4) 感想 (滞在先の感想とこれから留学する人へのアドバイス)	
<p>部屋は広いが古い(10 畳以上)、ユニットバス(シャワーは温水が出る)</p> <p>家具: シングルベット×2、クローゼット、TV、冷蔵庫</p> <p>アクセス: BTS National Stadium 駅まで徒歩 15 分</p> <p>徒歩 10 分に大学シャトルバスのバス停がある。</p> <p>徒歩 10 分圏内に大型量販店 Tesco Lotus がある。</p> <p>買い物や交通アクセスは問題ない。</p>	
現地情報	
(1) 現地で病院にかかったことはありますか。大学の医務室／診療所で医療サービスを受けることは可能でしたか？	
<input type="checkbox"/> 利用した: <input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会がなかった	
(2) 学内外で問題があった時には誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
<p>学内: チュラロンコン大学の方で手配されたアドバイザーの先生。タイ人だが、違和感がないほどに日本語が堪能。または、学部のオフィス。</p> <p>パディシステム及び、学内でできた友人</p> <p>学外: タイに駐在している小沼先生、明治アセアンセンターの事務員の方々、その他滞在中に出会った人々</p>	
(3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか。その際、どのように対処しましたか。	
<p>滞在中において危険を感じたことはない。(せいぜい数百円程度のぼったくりのみ)</p> <p>慣れない場所に行く際は、貴重品類と鞆を紐で結び付けるなどのセキュリティー対策を取った。</p> <p>政治集会などの危険情報については、日本大使館より度々連絡がくる。</p>	

<p>(4)PC, 携帯電話, インターネット接続について, 現地での利用はいかがでしたか。</p> <p>(例:寮のインターネットが不安定で, 1週間に1度は全く繋がらない時があった。街にあるカフェではWi-Fi接続が可能だった)</p> <p>iPhoneX(Simフリー)を所持していたため, 現地にてSimカードを購入。          空港にてAISの3日間のものを購入し, その後Trueの1年間のものをMBKで購入(1か月30GBまで携帯番号付き)          動画などを頻繁に使用していたが, 通信制限による不調を感じたことはなかった。しかし, 滞在先ホテルの立地的問題で部屋での繋がりが悪かった。          Wifiはなし。PCはiphoneよりテザリングして使用。また, 大学内のWifiを使用。</p>
<p>(5)現地での資金調達はどうのようにして行いましたか。</p> <p>(例:現地に銀行口座を開設し, 日本の親から送金してもらい, クレジットカードも併用していた)</p> <p>日本のキャッシュカードでキャッシング          クレジットカードの併用          半年のみの滞在だったことから, 現地での口座開設はしていない。          しかし, 大学の生徒IDカードがキャッシュカードと一体になっており, 現地の銀行口座を開設しないと手に入らない。生徒IDについてはアプリでも使用可能だが, 身分証明としてはカードの方が効力が高いと思われる。          身分証明については常にパスポートを持参していたが, 学割が適用される観光地などで生徒カードがないと, やや手こずることがあった。</p>
<p>(6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。</p> <p>バンコク市内にはショッピングモールが多くあるため, 基本的に調達できないものはない。          風邪薬などの常備薬に関しては, 半年分を日本から持って行った。          バスやタクシーなどの運転が粗いため, 酔い止めは何個あっても困らない。</p>
<p>(7)【授業料負担型の方】授業料支払い方法, 支払い時期について教えてください。</p> <p>(例:渡航前に自分のクレジットカードで支払った, 現地で開設した銀行のチェックで支払った)</p>

**学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)**

(1)留学先で取得した単位数合計		(2)本学で認定された単位数合計	
6 単位		4 単位	
(2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスを含めてお書きください。			
履修した授業科目名(留学先大学言語 or 英語)		履修した授業科目名(日本語)	
Organic Gardening			
単位数	3		
授業形態	講義(講義形式・ディスカッションなど)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
授業内容	有機農業をテーマに、有機栽培の歴史や方法、出荷に至るまでを統轄的に学べる。		
試験・課題など	中間試験はなし。期末試験は、グループプレゼンテーション、グループレポート、ペーパー試験。課題に関しては、基本的にグループワークが求められる。毎回の授業ごとにグループ課題が与えられ、授業の終わりに提出してから退出する。		
感想(自由記入)	農学科の生徒には最適な授業。逆に言うと、英語で開催されている授業で、農学科の内容に近いものはこの授業以外にないと考えられる。		

履修した授業科目名(留学先大学言語 or 英語)		履修した授業科目名(日本語)	
Presentation Skills for Science			
単位数	3		
授業形態	プレゼンテーション(講義形式・ディスカッションなど)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
授業内容	プレゼンテーション、英語での面接、ミーティングなどスキル向上に特化した授業。基本的にグループワークが求められる。		
試験・課題など	毎週のプレゼンテーション。及び、期末試験は授業で培ったスキルの確認ペーパー試験。		
感想(自由記入)	海外でのプレゼンテーションについて本格的に学ぶことが出来る。先生は厳しいが、面倒見がいい。ただ、毎週のプレゼンテーションが大変。		

履修した授業科目名(留学先大学言語 or 英語)	履修した授業科目名(日本語)
Computer Programming	
単位数	3
授業形態	講義(講義形式・ディスカッションなど)
授業時間数	1週間に180分が1回
授業内容	JAVAのプログラミングについて
試験・課題など	中間・期末ともに、実技試験とペーパー試験の両方がある。
感想(自由記入)	先生の英語がタイ英語で、聞き取るのが難しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語 or 英語)	履修した授業科目名(日本語)
Biochemistry for Engineering	
単位数	3
授業形態	講義(講義形式・ディスカッションなど)
授業時間数	1週間に90分が2回
授業内容	生化学、主にプロテインの構造や作用について。
試験・課題など	
感想(自由記入)	生化学は専門外でバックグラウンドを持ち合わせていなく、授業についていけなくなったため、9月中旬に授業の取り消しを行った。

履修した授業科目名(留学先大学言語 or 英語)	履修した授業科目名(日本語)
Biochemistry for Engineering Lab	
単位数	1
授業形態	実験(講義形式・ディスカッションなど)
授業時間数	1週間に180分が1回
授業内容	PDB(プロテインデータバンク)などの操作方法、また実験を行う。 Biochemistry for Engineeringと内容がセットとなった授業。
試験・課題など	中間試験は、PDB やそれに類するサイトを用いて答えを述べる形式
感想(自由記入)	Biochemistry for Engineeringと内容がセットとなっているため、これについても途中で付いていけなくなり9月に授業の取り消しを行った。

●留学中の一週間のスケジュール(例)

※授業だけでなく課外活動・交流会・自習・その他自由時間の活用についても具体的にご回答ください。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
朝					旅行	旅行	旅行
午前中	(Biochemistry for Engineering )	Computer Programming	(Biochemistry for Engineering )	(Biochemistry for Engineering Lab)			
	研究室	Computer Programming	授業準備	(Biochemistry for Engineering Lab)			
午後	研究室	研究室	Presentation Skill	Organic Gardening			
	研究室	研究室	Presantation Skill	Organic Gardening			
夜	自習	自習	自習	自習			

●留学体験記

以下の項目について、それぞれ 200 字程度で具体的にご回答ください。※文章は「です・ます」体に統一。

準備しておけばよかった事	<p>あらかじめタイ語の勉強をしておけばよかったと思います。半年間では、語学は身につかないとはなから決めつけ、タイ語を全く勉強しないで過ごしてしまいました。</p> <p>英語でも特に問題なく暮らせますが、現地の人たちとの交流を深めるには現地の言語が大切であると実感しました。</p>
留学先を選んだ理由	<p>チュラロンコン大学は、タイの東大と呼ばれている大学なのでレベルの高い教育が受けられると思いました。また、留学先の授業料が免除だったことも理由の一つです。</p>
大学・学生の雰囲気	<p>自分の想像よりも、現地の学生のレベルがはるかに高かったです。タイにおいても英語は第二言語であるはずなのに、インターナショナルコースだからか随分と堪能な学生が多かったように思います。また、学生の経歴や所持品などから、富裕層が多いと感じました。大学の敷地はとても広く、シャトルバスでの移動になります。タイの大学では、学部生は制服着用となっています。</p>

寮の雰囲気	ホテル住まいだったため、寮内の交流は一切ありませんでした。大学が紹介してくれる寮の方が、交換留学生が多いためより交流があると思います。日中は大学や出かけていることが多かったため、ホテルはほとんど寝るためだけに使ってるようなものでした。
交友関係	大学の方で紹介されたアドバイザーの先生には大変お世話になりました。日本語が堪能で、とても気さくな方でした。研究室を持っていたので、短い期間ではありますが研究室に所属させて頂きました。同じ学科の留学生は 5 人ほどで、学科内に日本人はいませんでした。普段は、同じ学科のドイツ人とミャンマー人の留学生とランチを食べたりしていました。
困った事・大変だった事	タイの食事が口に合わず、日本食のレストランで食事をとっていました。しかし、外食も徐々に飽きてきたので後半は IH で素麺を茹でて食べていました。お金に余裕があれば、自炊が出来るアパートをお勧めします。
学習内容・勉強について	学部 2 年で留学したため、専門知識に乏しく授業についていくのが大変でした。授業後は図書館にこもって復習していました。また、1 コマが 180 分なので、途中で集中が切れたときに授業内容が頭に入らないことが度々ありました。また、授業時間が長い分試験範囲も広がりました。
課題・試験について	授業が難しいうえ、範囲が広いので試験対策は厳しかったです。
大学外の活動について	週末は基本的に旅行していました。バンコク市内は都会ですが、郊外へ出るとまだ未発展な地域が多くみられました。タイは日本よりも物価が低いことから、スクーターライセンスや、バイク免許などが安く取得できます。